

事業所名	キッズサポートセンターMOKSHA/放課後等デイサービス		作成日： 2025年 3月 1日
支援プログラム			
法人（事業所）理念	法人：・人の『成長』×地域の『成長』×会社の『成長』の融合 ・あせらず、じっくり、ていねいに 事業所：・関わる全ての人の笑顔を大切に ・『成長×成長』の育自 ・将来を見据えた療育環境の提供		
支援方針	<p>『あそび』で『表現』：子ども達は自由な『あそび』を通して様々なスキルを身につけています。私たちは様々な『あそび』（活動）を通して友達やスタッフとの関わりを深め、他者との関係性やコミュニケーション力を高め、自分の気持ちを表現できるように支援します。</p> <p>『専門職』との多職種連携：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士等『医療的専門職』の配置を基本とし、児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員との多職種によるチームで、ひとりひとりの個性と子どもたちの将来の就職、自立に向け、その子どもの『いま』に合った集団療育、個別療育の提供をします。</p> <p>『得意』を伸ばして『自信』に：苦手の克服には『小さなステップ』の積み重ねや、『得意』の積み重ねによる『自信』をもつことが大切だと考えます。自分に『自信』をもって、新しい『出来た！』を経験し、社会で生き抜く力や自己肯定感を高めることで意欲の向上を目指します。</p>		
営業時間	平日：10：00～18：00 学校休業日：9：00～17：00	送迎実施の有無	送迎の実施 あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>(a)健康状態の維持・改善：到着時の検温や視診、また活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握に努める。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士等による心身機能評価や訓練の実施。</p> <p>(b)生活のリズムや生活習慣の形成：必要に合わせ定時での排泄誘導、口腔機能向上のためのマッサージや飲み水、おやつを利用した摂食への援助等の実施。</p> <p>(c)基本的な生活スキルの獲得：ADLや身辺整理などの指導を実際の場面で実施。おもちゃ遊びや『トライ』（個別課題）において、現機能と特性に配慮した、動作獲得練習・視覚支援や環境の構造化を実施する。</p>	
	運動・感覚	<p>(a)姿勢と運動・動作の向上：感覚統合遊び（スイング、トランポリン、サーキット等）を通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるよう支援を実施。また、そのための基礎となる柔軟な体づくりを意識した体を動かす活動を実施する。</p> <p>(b)姿勢と運動・動作の補助手段の活用：より良い姿勢での活動が行えるよう、各々に合わせた椅子や机のセッティングするなど環境調整にも配慮する。、また必要に応じて座位保持装置、パギーなども使用を検討、提案する。</p> <p>(c)保有する感覚の総合的な活用：5感2覚が統合されるよう運動遊びや『トライ』（個別課題：認知、言語、社会性等含む）を提供する。</p>	
	認知・行動	<p>(a)認知の発達と行動の習得：マッチング課題、構成課題、触覚遊び等様々な課題を通して、認知機能の発達を促す。</p> <p>(b)空間・時間・数などの概念形成の習得：発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。具体物を使用する段階から徐々に抽象的な思考へ進めるよう支援する。</p> <p>(c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促す。タイムタイマーやカムダウンスペースの設置。</p>	
	言語コミュニケーション	<p>(a)言語の形成と活用：季節の歌、絵本の読み聞かせ等を通して、様々な言葉に触れる機会を提供する。運動遊びの中で本人が感じている感覚を言語化して聞かせることにより、体験と言葉を結び付ける。また、遊びを通じて自発的な要求を引き出す。</p> <p>(b)言語の受容及び表出：言語によるコミュニケーションに加え、PECSでの支援や指差し、ジェスチャーなども含めた非言語コミュニケーションも活用する。より伝えたいことが伝わりやすくなるよう、構音訓練や口腔内マッサージ、口の体操、語彙の拡大、文章表現の向上等を目的とした支援を実施。</p> <p>(c)コミュニケーションの基礎的能力の向上：コミュニケーションの基礎となる、注目・追視・動作模倣、共同注視等を促す。指導員との適切な関係の中で、必要に応じ1対1でのやり取りを行う。</p> <p>(d)コミュニケーション手段の選択と活用：PECSによる支援や指差し、ジェスチャー等を活用し、意思伝達がしやすいよう支援する。</p>	
	人間関係社会性	<p>(a)他者との関わり(人間関係)の形成：安定したアタッチメント形成のために、触覚過敏への配慮や支援を行う。ふれあい遊びや手遊び歌、指導員や異年齢児を含めた場での自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促す。</p> <p>(b)自己の理解と行動の調整：必要時に行動の振り返りを行い、自己理解を促す。心理系専門職の配置と介入により、自己コントロールが出来るよう支援する。</p> <p>(c)仲間づくりと集団への参加：集団での活動を通じ、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。長期休暇には外出活動等を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む。</p>	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育ての困りごとへの相談援助 ・送迎対応、延長利用対応 等々 		
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先や移行先への相談援助や情報提供 ・併用利用先や学校との情報共有や支援内容のすり合わせ 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助 ・相談支援事業所や他サービス事業所他職種との連携 ・医療機関との情報連携や調整 		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB動画研修サイトに登録、いつでも視聴可能 ・年間2万円/人の研修サポート制度による、外部研修参加費補助 ・虐待防止、身体拘束に関する研修の実施 ・強度行動障害新卒養成研修への職員派遣 ・他事業所の見学実習 		
主な行事等	<p>年間行事： ・初詣、お正月あそび ・雪遊び ・節分 ・菖祭り ・ひな祭り ・お花見 ・端午の節句 ・七夕 ・避難訓練 ・プールあそび ・夏祭り ・ハロウィン ・紅葉祭り ・芋煮会 ・クリスマス会 ・大掃除 等々</p> <p>外出活動： ・水族館 ・動物園 ・科学館 ・天文台 ・大型公園 ・ジョイポリス ・学園祭 ・七夕まつり 等々</p> <p>体験活動： ・ささかま焼き ・せんべい焼き ・野菜収穫 ・クッキング(食事・おやつ) ・外食体験 ・買い物体験 ・公共交通機関乗車体験(バス・電車) 等々</p> <p>その他： ・季節を感じるイベントの開催と様々な体験を通じて、地域や他施設との交流を図っています。</p>		